



元気に登校する小学生



Q1 教員指導能力の対策は

高橋 寿議員（春緑クラブ）

A1 研修会への参加で成果

Q1 昨今、教員の資質と指導力の欠如が指摘されています。全国に481人の教員不適格者が認定されていますが、本村では如何なる対策を考えているか、また教員研修が重要と考えますか、現状について伺います。

A1 社会が著しく変化している今日、児童生徒の主体的、創造的な対応力が求められており、教員の資質や指導能力が今まで以上に問われています。

このような背景の中、教員研修は大変重要です。生徒主事研修会、不登校対策等の課題にそった研修会、また、県教育委員会主催の各種研修会に多くの教員を参加させ、指導に成果をあげていると考えています。

Q2 「新しいタイプの学校運営の在り方」は、学校運営協議会の設置により、校長、地域住民、保護者が一体となり地域に信頼される学校づくりを実現する内容です。そこで本村の考えを伺います。

A2 本村では、学校評議員制度を全校に導入しています。この制度は評議員の方々の意見を学校長が聞き学校運営に反映させる仕組みです。

この制度の実施により地域の要望や期待がはっきりと捉えられ、子供の校外に

おける様子や、地域の人材活用が容易になるなど、学校と保護者、地域の連携が深まり成果をあげています。今後、新しいタイプの学校運営の成果を見据え、保護者や地域住民の学校運営への参画を進めてまいります。

Q3 世田谷区では日本語教育特区を申請し17年度には、読解力向上プログラムを立ち上げるとしています。また6・3制を廃止するなど、全国で教育特区による効果が示されています。考えを伺います。

A3 義務教育費国庫負担制度の問題をはじめとし、小・中学校の区切り方や小中一貫教育など義務教育制度全般について、さらには教員免許更新制の導入等、国の動向を注視してまいります。当教育委員会は当面、現行制度で子供の教育を確かなものとしていきたいと考えています。